

校友会 史跡クラブ 行程表

日 程	11月25日(月) 《雨天決行》
活動場所	赤坂迎賓館～外苑銀杏並木散策～豊川稲荷東京別院
集合時間:場所	10時20分(時間厳守)：東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算	入館料・昼食代 ￥3,150(交通費別途)
行程概要(午前)	池袋10:38 ～ 新宿10:47 (JR山手線)
	新宿10:48 ～ 四谷10:55 (JR総武線)
	11:30 赤坂迎賓館本館見学
(昼食)	迎賓館近くのレストラン予約済
(午後)	14:00 神宮外苑銀杏並木散策(いちょう祭り開催中)
	青山一丁目 ～ 赤坂見附 (メトロ銀座線)
	豊川稲荷東京別院参詣
	赤坂見附16:03 ～ 新宿三丁目16:11 (メトロ丸ノ内線)
	16:17 池袋新宿三丁目 ～ 池袋16:23 (池袋解散) (メトロ副都心線Fライナー急行森林公園行)

● 赤坂迎賓館

日本の迎賓館は、迎賓館赤坂離宮と京都御所内の京都迎賓館の2ヶ所である。2015年までは原則非公開であったが、2016年からは接遇に支障のない限りは、通年で一般公開されている。

赤坂迎賓館は、明治42年(1909)に鹿鳴館を設計したジョサイア・コンドルの弟子の片山東熊の設計により、のちの大正天皇の東宮御所として、元紀州徳川家の屋敷跡に建設された。その後昭和天皇も皇太子時代は東宮御所とされていたが、天皇即位に伴い離宮となっていた。第2次大戦後皇室から国に移管され、国立国会図書館や弾劾裁判所、オリンピック組織委員会等に使用されたが、外国の賓客の増加に伴い、本館は村野東吾、和風別館は谷口吉郎の監修により赤坂離宮を改修することとなった。108億円の工費をかけて、昭和49年(1974)に迎賓館赤坂離宮として完成をみた。また平成21年(2009)には国宝に指定されている。

● 豊川稲荷東京別院

豊川稲荷は正式には、圓福山豊川閣妙嚴寺といい、曹洞宗の寺院です。稲荷信仰は伏見大社の主神「宇迦之御魂神」等の神々への信仰であるが、豊川稲荷では、豊川茶枳尼眞(ダキニシン)天と称する、古代インドのヒンドゥー教の鬼神「荼吉尼(ダキニ)天」を祀っている。この茶枳尼眞天が稲穂を荷い白い狐に跨っていることから、豊川稲荷と呼ばれ現在に至っている。

赤坂の東京別院は、江戸時代に大岡越前守忠相が、愛知県の豊川稲荷を屋敷内に分霊し、日々信仰していたといひます。明治20年になると赤坂一ツ木の大岡邸から現在の地に遷座している。商売繁盛・家内安全・福德開運に霊験あらたかとされているが、明治以降の赤坂は、料亭等が集まり花柳界が発展し、芸者さんなど芸道を生業とする人たちの信仰が増えた。現在でも著名な芸能人やスポーツ関係者の信仰を集めている。

持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ